



●検査部より

こんにちは。臨床検査技師の平田です。

今回は、糖尿病患者さんの感染症について紹介します。

糖尿病患者さんの感染症についてⅡ 感染症になったときの注意点は？

血糖値が上昇します

糖尿病の方が、感染症などの病気になると血糖値を上げる「**アドレナリン**」などのホルモンや、細菌に感染するとインスリンを効きにくくする物質「**サイトカイン**」が多くなって、血糖値が普段より高くなります。



糖尿病でない方は、その分泌にあわせてインスリンも多く分泌されますが、糖尿病の方は、インスリンの追加分泌ができないため血糖値がいつもより上昇します。病気の種類や程度で差がありますが、一般に血糖値が約30%上昇すると言われています。

自己判断で薬物療法を中止しないでください

患者さんの判断で中止することは止めましょう。病気により、血糖値が高くなっているのに加え、薬を中止することで血糖値が極端に高くなり、重症になる場合もあります。

早めに診察を受けましょう

軽い「カゼ」などの感染なら二日ほど安静にして様子を見てください。しかし、食事が取れない、下痢が続く、回復する気配がないなどの場合は早めに診察を受けてください。

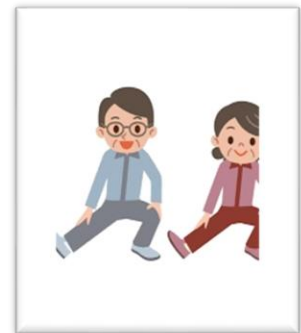
水分を多くとり炭水化物やビタミンをとりましょう

発熱や下痢をしている場合は「脱水症状」にならないように水分を多くとりましょう。また、食欲が無いときは「おかゆ」などの消化吸収の良いものを食べ、炭水化物を充分にとるようにしましょう。

免疫機能を高めるために、「ビタミンC」が多く含まれる果物や野菜を、多く取ってください。

運動療法は一時控えてください

病気のときの運動は、心臓や呼吸器系に多くの負担がかかりますので、運動療法は中止してくださいね。運動療法の開始については、病気が良くなってから再開してもらいますが、ご自身でよく分からないときは先生にご相談ください。



こんにちは。臨床検査技師の溝上です。

今回は、動脈硬化の検査について紹介します。

当院では、**血圧脈波測定**で「動脈硬化の程度」を知ることができます。検査方法は腕と足首に血圧計をまき測定します。

血液の流れる速さで「血管の硬さ」や腕と足首の血圧の比で「足の血管の詰まり」を知ることができます。

動脈硬化が進むと運動時に足の痛みとして症状が現れることが多いので気になる方はスタッフにお声かけください。

検査の所要時間は15分程度で痛みなどもない検査です。

●事務部より

診察券は大事に取り扱ってください。

磁気カードのため、マジックやボールペンでの書き込みや画びょうなどで傷がついた場合は、読み取りができなくなり、有料での再発行となりますのでご注意ください。